

## 4. 増改築

### 4-1. 【鉄骨造の増改築設計】

倉庫などの建物を工場や事務所にリノベーションする。店舗の外観を一新する。建物を使用しながら老朽化した外壁を張り替える。このような工事では、特に優れた乾式材が要求されます。耐火性や遮音性などの素材性能に加え、工期が短く、現状に合わせる加工性など、ヘーベルライトはその特長を遺憾なく発揮します。一般パネルに加えて、特殊処理パネル(SIパネル・SPパネル)は工期の益々の短縮に、デザインパネルは新しい意匠の創造にと豊富なラインナップからご検討ください。

#### ⚠ 警告：適用範囲

- ヘーベルライトは軽量であり、また構造的にはボード材として取り扱うことができますので、増築や改築(外壁の張り替え)工事が容易に行えます。
- ヘーベルライトへの張り替え時に、地震荷重などに対する構造設計を実施してください。
- 既設の外壁材に比べ、外壁重量が増加する場合は、設計様、元請様にて躯体の構造安全性をご確認ください。
- 鉄骨造、木造の外壁に適用可能です。各構造共、基本的には新築の工法に準じますが、下記の事項には特にご配慮ください。

#### ⚠ 注意：下地の設計

- 既設の胴縁を利用する場合は、ヘーベルライトパネルの規格寸法に合わせて、一部移設または新設が必要です。既設の給・配水管、煙突などが外壁を貫通する部分では間柱を補強して、パネルの下地を確保してください。
- 胴縁の間隔や断面は「設計のポイント編 下地胴縁の設計」をご参照ください。また、パネル短辺目地部は胴縁2本使いとし、パネル端部のかかり代を確保してください。
- 胴縁は厚さ1.6mm～3.2mmの軽量形鋼とします。

#### ⚠ 注意：パネルの設計

- 既設配管など、外壁貫通物の部分ではパネル割付けにかかわらず目地を設けます。なおこの部分には下地補強が必要です。

#### 関連工事

- 開口部は既設のものが使用できますが、枠、水切板はヘーベルライトに合わせて新設してください。
- 水切板金、笠木など板金工事は全て新設してください。
- 換気口や換気扇のウェザーカバーなどの外壁貫通物は外壁とうまく整合しないケースが多く、その場合は新設してください。
- 外装吹き付け工事は色ムラの出ないように、最後に一括して行ってください。
- 増築工事の場合、既設建物との間にはエキスパンションジョイントを設け、建物変位と防水の確実な処理を行ってください。

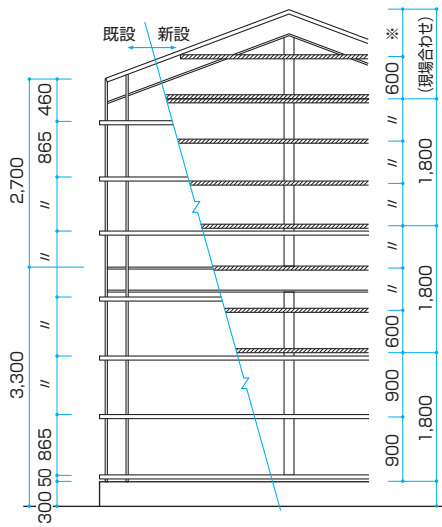


●改築前



●改築後

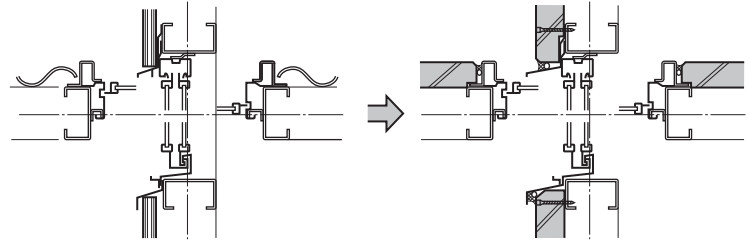
鉄骨造外壁の張り替えは  
既設胴縁を改造します。



サッシ廻り

張替え前 (スレート張り)

張替え後



パラペット廻り

張替え前 (スレート張り)

張替え後 (ヘーベルライト張り)

